アルータ100Ｇボード数とし、これを共用コアルータ１ユニット当たり最大100Ｇボード数で除したもの（１に満たない端数は、切り上げるものとする。）

イ　共用コアルータ10Ｇインタフェース数（ＣＷＤＭ10Ｇインタフェース数、共用収容ルータ対向10Ｇインタフェース数（当該局が収容局兼コア局の場合に限る。）、コア局用Ｌ２ＳＷ対向10Ｇインタフェース数、データ系ＩＰ装置対向10Ｇインタフェース数（共用コアルータが100Ｇインタフェースを有する場合を除く。）及び関門系ルータ対向10Ｇインタフェース数の合計）を共用コアルータ10Ｇボード当たり最大収容インタフェース数で除したもの（１に満たない端数は、切り上げるものとする。）を共用コアルータ10Ｇボード数とし、これを共用コアルータ１ユニット当たり最大10Ｇボード数で除したもの（１に満たない端数は、切り上げるものとする。）

ウ　共用コアルータを経由するアナログ電話、総合デジタル通信サービス、ＡＤＳＬ地域ＩＰサービス、光ＩＰ電話及び光地域ＩＰサービスの最繁時帯域の合計を共用コアルータ最繁時帯域とし、これを共用コアルータ収容率及び共用コアルータ１ユニット当たり最大処理最繁時帯域で除したもの（１に満たない端数は、切り上げるものとする。）

エ　共用コアルータを経由するアナログ電話、総合デジタル通信サービス、ＡＤＳＬ地域ＩＰサービス、光ＩＰ電話及び光地域ＩＰサービスの最繁時パケット数の合計を共用コアルータ最繁時パケット数とし、これを共用コアルータ収容率及び共用コアルータ１ユニット当たり最大処理最繁時パケット数で除したもの（１に満たない端数は、切り上げるものとする。）

⑵　⑴イのＣＷＤＭ10Ｇインタフェース数、共用収容ルータ対向10Ｇインタフェース数（当該局が収容局兼コア局の場合に限る。）及びコア局用Ｌ２ＳＷ対向10Ｇインタフェース数から、それぞれデータ系サービスに係るもの（ＱｏＳ制御係数を加味した最繁時帯域比により算定するものとする。）及び光ＩＰ電話に係るもの（最繁時帯域比により算定するものとする。）を控除したものの合計をメタルＩＰ音声系共用コアルータ（ユニット部）10Ｇインタフェース数とする。

⑵　⑴の共用コアルータ10Ｇインタフェース数を共用コアルータ10Ｇボード当たり最大収容インタフェース数で除したもの（１に満たない端数は、切り上げるものとする。）を共用コアルータ10Ｇボード数とし、次のアからウまでにより求めたユニット数のうち最大のものを当該局の共用コアルータユニット数とする。

ア　共用コアルータ10Ｇボード数を共用コアルータ１ユニット当たり最大10Ｇボード数で除したもの（１に満たない端数は、切り上げるものとする。）